



おおにしだより

第40号

平成26年11月14日

発行所：栃木市立大平西小学校校長室

幼保小中の交流・連携で、円滑な教育の接続を！

近年、子どもが小学校や中学校に入学した時に、学習環境や生活環境、人間関係などの変化から、学校生活への不適応を起こす「小1プロブレム」や「中1ギャップ」が課題となっています。

こうした課題を解決するためには、子どもたちが社会に出るまでの学校教育において、発達段階に応じた教育を確実に行いつつ、一貫した考えのもと、異校種間の連携を図った教育が必要です。

これらの状況を改善するため、本校では幼稚園・保育園と小学校の連携、姉妹校化による小学校と中学校の連携の中で、互いに授業を参観したり、授業研究会を行ったり、進路指導や児童生徒指導等の情報交換を行ったりしています。

本年度は、夏季休業中に本校の鈴木孝美教諭が、大平みなみ幼稚園での体験研修に参加しました。また、大平中学校で実施する研究授業の指導案検討会に西小・東小の全教員が加わり、三校合同での意見交換を熱心に行いました。さらに、10月30日には、西保育園の先生が来校し、1年生担任とともに授業を行っていただきました。

児童生徒の交流も定着してきました。来る11月27日（木）には、大平中学校の1年生が「小中児童生徒交流活動」のため来校し、算数の勉強を教えてくれたり、中学校生活についての紹介をしてくれたりすることになっています。本校の児童は皆、卒業した先輩方との交流活動を楽しみにしています。

今後も、より一層異校種間の接続を円滑にするため、それぞれの学校段階での教育の役割を尊重しつつ、子どもたちの学習活動における連携や教職員の交流を充実させたいと考えます。なお、10月30日の朝会で、私は「素晴らしい卒業生たち」というお話をしました。内容をお知らせいたしますので、ご家族の皆さんで話し合っただけければ幸いです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

「素晴らしい卒業生たち」

10月25日（土）、大平中学校の学校祭「けやき祭」に行ってきました。皆さんの中にも、お兄さんやお姉さんが中学生という人がいるでしょう。「けやき祭」を見に行った人は、手を上げてください。校長先生は、開会行事や、その後の、いろいろな発表を見せてもらいましたが、どれも素晴らしいものばかりでした。中学生の一生懸命に取り組んでいる姿を見て、とてもうれしくなりました。

校長先生が、前に大平東小学校で教頭先生だった時、今の大平中学校の1年生から3年生は、大平東小の1年生から3年生でした。ですから、大平西小の卒業生を合わせると、大平中学校の生徒全員が校長先生と一緒に小学校生活を送ったことになるわけです。

だから、余計に、中学生のがんばる姿を見て嬉しくなったのかもしれませんが。発表を見ていると、不思議なことに自然に涙が出てきました。「なんて素晴らしい中学生なんだろう。」と、心から感動しました。

そして、大平中学校の立派な生徒たち、つまり、この大平西小を卒業した皆さんの先輩方が、いろいろなことに意欲的に取り組み、そして、活躍している姿を見て、誇りに思いました。

学校の先生方は皆、自分の教え子が立派に成長してくれることを、心から願っています。受け持ちの先生はもちろん、この大平西小にいる全ての先生方も同じ気持ちです。

皆さんも、この大平西小に入学する前は、幼稚園や、保育園に通っていたことでしょう。その時の先生方の顔を皆さんは覚えていますか。きっと、誰もが皆、先生方にかわいがってもらったことでしょう。その時に教えてもらったことやお世話になったことは、大きくなくても決して忘れないでください。

今日は、幼稚園・保育園を代表して大平西保育園の上岡理恵先生が、勉強やお掃除、それに休み時間や給食など、大平西小の児童の皆さんのがんばっている様子を見に来ていただきました。ありがたいことですね。

上岡先生と、いろいろなお話をすることができるかもしれません。「私は、小学生になってこんなにがんばっていますよ。」と、お話ができるといいですね。また、大平西保育園の卒園生でなくても、先生に、いろいろなお話をしてみてください。どうぞ、よろしくお願いいたします。



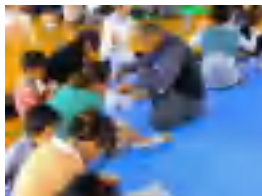
指導案検討会

地域との絆を深めた「ふれあいのつどい」・「昔の遊び」



11月5日（水）、「ふれあいのつどい」が、大勢の祖父母、保護者、地域の皆様をお迎えして行われました。この活動は地域の方々と「なかよしグループ」（異学年グループ）の交流をねらいとした児童会行事で、本校の特色ある教育活動の一つです。

体育館で行った全体会では、参加者紹介の後、全員で「もみじ」を歌いました。その後、各教室を会場に、サイコロ1出し・割り箸落とし・1分間紙ちぎりゲーム・豆つかみ皿うつし・空き缶積み・ストラックアウト等のゲームを楽しみました。地域の皆様には、ゲームの説明役として、また、審判として優しく接していただきました。地域の皆様から励ましの言葉をもらった子どもたちは皆、嬉しそうでした。



楽しい空き缶積み

ストラックアウト等のゲームを楽しみました。地域の皆様には、ゲームの説明役として、また、審判として優しく接していただきました。地域の皆様から励ましの言葉をもらった子ども

たちは皆、嬉しそうでした。また、11月6日（木）に実施いたしました1年生親子学習「昔の遊び」では、本校歴代PTA会長の皆様に、空き缶ポックリ・ぶんぶんゴマの作り方と遊び方を教えていただきました。自分の手で初めて作ったおもちゃで遊ぶ子どもたちは皆、大きな歓声をあげていました。子どもたちにとっても、歴代PTA会長の皆様との「絆」を感じることができ、大変有意義な会になりました。

このように、本校では、地域の中に生き、地域と一体となった教育を継承し、児童・教職員が「郷土を愛し、誇りに思える」学校づくりに努めております。本年度も、教育活動の様々な場面で、地域の皆様にご世話になっております。温かいご指導に感謝申し上げます。

PTAバザーが無事終了！ ご協力に感謝いたします。

11月8日（土）に行いましたPTAバザーでは、お忙しいところご協力くださいまして、誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。お陰様で、たくさんの収益をあげることができました。

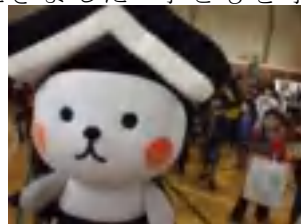
このバザー収益金につきましては、周年事業をはじめ、今後の諸教育活動において、有効に活用させていただきたいと思っております。

☆ 平成26年度PTAバザー収益金（最終集計）

345,398円

当日は、バザー物品販売のほか、5年生児童が手塩に掛けて育ててきた「無農薬栽培天日干し」の新米144kgも販売しました。

また、6年生とミュージック部児童によるコンサートも行われ、素晴らしい演奏を発表しました。ゆるキャラグランプリ2014で、初出場ながら見事8位となった「とち介」も、PTAバザーのためにかけつけてくれました。愛嬌たっぷりのかわいい「とち介」を見て、子どもたちは皆、大喜びでした。実施にあたりましては、PTA役員の皆様は勿論、「おやじの会」の皆様、たくさんのPTAバザーボランティアとして大活躍の皆様、パトロールにご協力いただきました「子どもを守る会」の皆様には、大変お世話になりました。



焼きそばおいしいよー

「とち介」も来校

西小ブランド米

バザーの品々

なお、上の写真にあります「焼きそば作り用鉄板」1枚を、中央町の「江連鐵工（株）」江連大祐様からご寄贈いただきました。昨年度までは大きな鉄板が2枚でしたが、今年は3箇所で焼くことができましたので、販売もスムーズに行うことができました。大変高価な鉄板をありがとうございました。心より感謝申し上げます。

【引渡し訓練、お世話になりました。】

10月17日（金）に実施いたしました「児童引き渡し訓練」では、大変お世話になりました。今回は、大地震（震度5強以上）を想定して、児童を安全かつ迅速に引き渡すことができるための訓練でした。

保護者の皆様には、趣旨をご理解の上ご協力いただきありがとうございました。おかげ様で、スムーズに引渡しを行うことができ、当初の目的を十分に達成することができました。



校庭で引き渡し